

奨学生願書 記入要領 (学生生徒用)

様式第1号(第2条関係)

令和 7 年度 伊東市育英奨学金 奨学生願書 (表)

願書は、学生生徒本人が作成してください。

奨学生の選考及び決定後の一連の事務処理にあたり、必要時に教育委員会が本人、生計を一にする家族及び連帯保証人の住民基本台帳の閲覧、市民税課税台帳の閲覧を行うことに同意します。

令和7年度に在籍する学校	本人	フリガナ	イトウ タロウ		記入日	令和7年4月1日			
		氏名	伊東 太郎		生年月日	H18年10月27日生			
		現住所	郵便番号 伊東市大原〇丁目〇番〇号		年齢	18			
		電話番号	自宅 0557-〇〇-〇〇〇〇	携帯 090-〇〇〇〇-〇〇〇〇					
		履歴	伊東市立〇〇中学校 入学・卒業→静岡県立△△高等学校 入学・卒業→在学						
		フリガナ	シズオカケンリツイトウダイガク	学部・課程	学年	卒業見込年月			
	学校名	静岡県立伊東大学	教育学部	1	令和10年3月				
希望事項	月額奨学金	50,000円 ×12か月×貸与期間		4年 =	2,400,000円 (A)				
	入学一時金	月額奨学金または入学一時金のどちらかのみを希望する場合は、希望しない方に「0円」と記載			600,000円 (B)				
	貸与総額 (月額奨)				3,000,000円 (A)+(B)				
生計を一つにする家族(本人を除く)	扶養する子どもを除く家族	続柄	氏名	生年月日	職業	所得の種類	勤務先	所得金額(前年)	所得見込額(今年)
		父	伊東 一郎	S42.2.10	会社員	給与	(株)〇〇	3,240,000	1,620,000
		母	伊東 花子	S42.3.10	パート	給与	〇〇スーパー	760,000	760,000
		祖母	伊東 椿	S17.4.10	無職	年金	なし	0	0
家計急変	保護者が扶養する子ども	続柄	氏名	生年月日	学校設置者	在学名・学年等			
		弟	伊東 次郎	H17.5.10	国公立・私立	静岡県立△△高等学校 2年			
					国公立・私立				
					国公立・私立				
					国公立・私立				
他家計急変	前年度と今年度の所得が大きく異なる場合はその理由を具体的に記入する必要があります。								
	家計支持者であった父が昨年失業し、3か月間は無収入の状態であった。現在は再就職したが、前職よりも収入は大きく減ってしまい、定額制のため今後も増収する見込みはない。								
	家計支持者に発生した過去1年以内の急な変化を詳細に記載								
他家計急変	利用予定	状況	種類	制度名	〇〇機構奨学金				
	(有)・無	決定済 申請中	給付・貸与	金額	月額	一時金	50,000円		
	伊東市育英奨学生に採用された場合、金額を				減額します 変更しません				

※点線内は該当者

収入の有無にかかわらず全員記入

要領(学生生徒用)

他に借りている または借りる予定の奨学金の情報を記載

裏面へ続く(記入のないものは無効)

(様式第1号)

令和 7 年度 伊東市育英奨学金 奨学生願書 (裏)

希望理由	私が奨学生を希望する理由は、
在学 学校への進学理由	私が
卒業	私は

できるだけ具体的に記載

伊東市内に居住し、それぞれ別生計を営んでいる方、市税を滞納していない方

将来の想定手取り金額等を記載し、将来の生活設計を記載

収入	奨学金 〇〇〇円、仕送り 〇〇〇円、アルバイト代 〇〇〇円
支出	家賃 〇〇〇円、光熱水費 〇〇〇円、食費 〇〇〇円、通信費 〇〇〇円、学費 〇〇〇円
※ この欄には奨学金を含めた月の収入内訳と、それに対する具体的な生活計画(生活費や光熱費、学費等)の記入が必要です。	
私の就労後の想定手取り金額は毎月【 〇〇〇〇 】円で、本奨学金及び他奨学金の総貸与金額【 〇〇〇〇 】円を毎月【 〇〇〇〇 】円ずつ返還し、残り【 〇〇〇〇 】円で生計を立てていきます。	

連帯保証人	フリガナ	イトウ イチロウ	生年月日	年 齢
	氏名	伊東 一郎 続柄(父)	S42年2月10日生	57
	現住所	郵便番号 414-〇〇〇〇 (電話番号090-〇〇〇〇-〇〇〇〇) 伊東市大原〇丁目〇番〇号		
	職業	会社員	勤務先	株式会社〇〇
保証人	フリガナ	ウサミ ゴロウ	生年月日	年 齢
	氏名	宇佐美 五郎 続柄(叔父)	S43年6月10日生	56
	現住所	郵便番号 414-〇〇〇〇 (電話番号090-〇〇〇〇-〇〇〇〇) 伊東市宇佐美〇〇〇番地		
	職業	公務員	勤務先	〇〇市役所

申し込み時点では認印で結構です

伊東市の奨学生を希望し、奨学金の貸与を受けたく連帯保証人と連署して、上記のとおり願ひ出ます。
なお、採用の上は、奨学生としての本分を尽くすことはもとより、伊東市育英奨学金条例及び同条例施行規則を遵守し、兩人連署の責任を負うことを誓います。

令和6年4月〇日 本人氏名 伊東 太郎 (印)

連帯保証人氏名 伊東 一郎 (保護者) (印)

連帯保証人氏名 宇佐美 五郎 (印)

伊東市教育委員会 様

伊東市育英奨学金